

資料編

- I 総務企画班業務
- II 地域保健班業務
- III 健康推進班業務
- IV 生活環境班業務
- V 研修・講習



I 総務企画班業務

1 管内人口の状況

(1) 市町村別人口の推移

年次	管内総数	宮古島市	平良市	城辺町	下地町	上野村	伊良部町	多良間村
昭和25年	74,668	—	30,897	16,514	6,427	5,547	11,483	3,800
昭和30年	75,392	—	32,716	16,605	6,177	5,783	10,815	3,296
昭和35年	72,339	—	32,506	15,433	5,703	5,005	10,796	2,896
昭和40年	69,825	—	32,591	14,559	5,206	4,603	10,263	2,603
昭和45年	60,953	—	29,721	12,053	4,022	3,739	9,132	2,286
昭和50年	57,762	—	29,301	10,883	3,116	3,493	9,164	1,805
昭和55年	60,464	—	32,924	10,203	3,017	3,500	9,153	1,667
昭和60年	60,167	—	33,406	9,671	2,921	3,502	9,035	1,632
平成2年	57,458	—	33,124	8,564	2,892	3,227	8,155	1,496
平成7年	56,248	—	33,387	7,896	3,045	3,179	7,424	1,317
平成12年	55,805	—	33,726	7,649	3,206	3,183	6,709	1,332
平成17年	55,200	—	34,190	6,879	3,225	3,274	6,236	1,396
平成18年	54,442	53,127	—	—	—	—	—	1,315
平成19年	54,021	52,734	—	—	—	—	—	1,287
平成20年	53,626	52,352	—	—	—	—	—	1,274
平成21年	53,478	52,222	—	—	—	—	—	1,256
平成22年	53,452	52,203	—	—	—	—	—	1,249
平成23年	53,209	52,024	—	—	—	—	—	1,185
平成24年	53,122	51,959	—	—	—	—	—	1,163
平成25年	53,036	51,885	—	—	—	—	—	1,151
平成26年	52,732	51,614	—	—	—	—	—	1,118
平成27年	52,441	51,356	—	—	—	—	—	1,085
平成28年	52,164	50,997	—	—	—	—	—	1,167
平成29年	52,343	51,180	—	—	—	—	—	1,163
平成30年	52,456	51,299	—	—	—	—	—	1,157
令和元年	53,289	52,176	—	—	—	—	—	1,113
令和2年	53,510	52,420	—	—	—	—	—	1,090
令和3年	53,433	52,339	—	—	—	—	—	1,094

資料：沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」各年10月1日時点の人口
(平成17年は9月1日時点)

(2) 市村別人口の構成

各項目	面積 (Km ²)	人口			人口密度 (人/Km ²)	世帯数	1世帯あたり人口 (人/世帯数)
		総数	男	女			
管内	226.27	53,433	26,713	26,720	236.15	25,633	2.08
宮古島市	204.27	52,339	26,112	26,227	256.22	25,168	2.08
多良間村	22.00	1,094	601	493	49.73	465	2.35

※面積は国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和3年10月1日時点

※人口及び世帯数は沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」令和3年10月1日時点

2 管内人口動態

(1) 人口動態統計について

ア 調査の目的と沿革

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。

人口動態調査は、明治 31 年に「戸籍法」が制定され、登録制度が法体系的にも整備されたのを機会に、同 32 年から 1 件につき 1 枚の個別票（人口動態調査票）を作成し、中央集計をする近代的な人口動態統計制度が確立された。

その後、昭和 22 年 6 月に「統計法」に基づき「指定統計第 5 号」として指定され、その事務の所管は同年 9 月 1 日に総理庁から厚生省へ移管された。

さらに、平成 21 年 4 月より、新「統計法」（平成 19 年法律第 53 号）に基づく基幹統計調査となっている。

イ 調査の対象、客体及び抽出方法

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としている（全数調査）。

ウ 調査事項

人口動態調査票は、次に挙げる 5 種であり、概要は以下のとおりである。

- (a) 出生票：出生の年月日、場所、体重、父母の氏名及び年齢等の出生届に基づく事項
- (b) 死亡票：死亡者の生年月日、住所、死亡の年月日等の死亡届に基づく事項
- (c) 死産票：死産の年月日、場所、父母の年齢等の死産届に基づく事項
- (d) 婚姻票：夫妻の年月日、夫の住所、初婚・再婚の別等の婚姻届に基づく事項
- (e) 離婚票：夫妻の年月日、住所、離婚の種類等の離婚届に基づく事項

エ 調査の時期

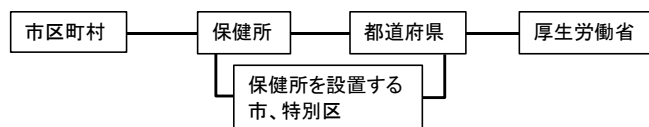
調査該当年の 1 月 1 日から同年 12 月 31 日まで

オ 調査の方法

- (a) 市区町村長は、出生、死亡、死産、婚姻及び離婚の届出を受けたときは、その届書等に基づいて人口動態調査票を作成し、これを保健所の管轄区域によって当該保健所長に送付する。

保健所長は、市区町村長から提出された調査票を取りまとめ、毎月、都道府県知事に送付する。

- (b) 報告の系統図



- (c) 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行う。

(2) 用語の説明及び比率の解説について

ア 自然増減・・・出生数－死亡数

イ 乳児死亡・・・生後1年未満の死亡

ウ 新生児死亡・・・生後4週未満の死亡

エ 早期新生児死亡・・・生後1週間未満の死亡

オ 死産・・・・・・・・・・妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産

※ 死児とは、出産後において心臓搏動、随意筋の運道及び呼吸のいずれも認めないものをいう。

※ 死産には自然死産と人工死産があり、人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置（胎児又は付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外は全て自然死産とする。

なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。

(a) 胎児を出生させることを目的とした場合

(b) 母体内の胎児が生死不明又は死亡している場合

カ 周産期死亡・・・妊娠満22週（154日）以後の死産＋早期新生児死亡

キ 出生・死亡・婚姻・離婚率

$$= (\text{年間事件数} \div \text{人口}) \times 1,000$$

ク 自然増加率

$$= \{(\text{年間出生数} - \text{年間死亡数}) \div 10 \text{月1日現在人口}\} \times 1,000$$

ケ 死産率

$$= \{ \text{年間死産数} \div (\text{年間出生数} + \text{年間死産数}) \} \times 1,000$$

コ 乳児死亡・新生児死亡・早期新生児死亡率

$$= (\text{年間乳児 or 新生児 or 早期新生児死亡数} \div \text{年間出生数}) \times 1,000$$

サ 周産期死亡率

$$= \{ \text{年間周産期死亡数} \div (\text{年間出生数} + \text{年間妊娠満22週以後の死産数}) \} \times 1,000$$

シ 合計特殊出生率

$$= [\text{年齢別出生数} (5 \text{歳階級別}) \div \text{年齢別女子人口} (5 \text{歳階級別})] \text{の総和} \\ (15 \sim 49 \text{歳までの7階級}) \times 5$$

※ 合計特殊出生率とは、15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

(3) 結果の公表などについて

概ね、毎年9月上旬ごろに前年の人口動態調査の確定数が公表される。詳細については、厚生労働省のホームページを参照のこと。

(参考) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>

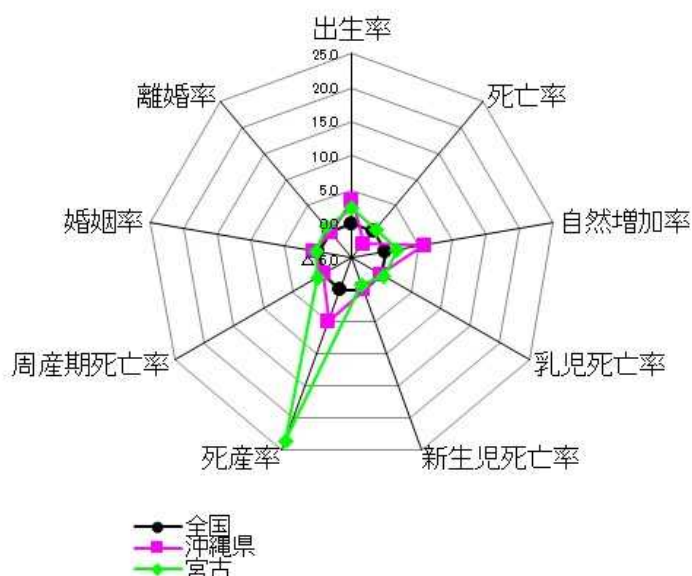
(4) 人口動態統計の概要

項目	実数・率	実数 (人、組)					率 (%)					沖縄県 全国順位
		全国	沖縄県	宮古管内	宮古島市	多良間村	全国	沖縄県	宮古管内	宮古島市	多良間村	
出生		811,622	14,535	475	472	3	6.6	10.0	8.9	9.0	2.7	1位
死亡		1,439,856	13,582	654	640	14	11.7	9.4	12.2	12.2	12.8	47位
自然増減		△ 628,234	953	△ 179	△ 168	△ 11	△ 5.1	0.7	△ 3.3	△ 3.2	△ 10.1	-
乳児 (生後1年未満) 死亡		1,399	23	1	0	1	1.7	1.6	2.1	0.0	333.3	28位
新生児 (生後4週未満) 死亡		658	12	0	0	0	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	20位
死産		16,277	365	21	21	0	19.7	24.6	43.3	43.5	0.0	1位
自然死産		8,082	200	11	11	0	9.8	13.5	22.6	22.8	0.0	-
人工死産		8,195	165	10	10	0	9.9	11.1	20.6	20.7	0.0	-
周産期死亡		2,741	46	2	2	0	3.4	3.2	4.2	4.2	0.0	33位
妊娠満22週以後の死産		2,235	41	2	2	0	2.7	2.8	4.2	4.2	0.0	-
早期新生児死亡		506	5	0	0	0	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	-
婚姻		501,138	7,020	236	234	2	4.1	4.8	4.4	4.5	1.8	2位
離婚		184,384	3,187	126	126	0	1.5	2.2	2.4	2.4	0.0	1位

資料：令和3年厚生労働省人口動態調査確定値 (R4.9月公表)

令和3年沖縄県人口動態統計 (確定数) の概況 (R4.10月公表)

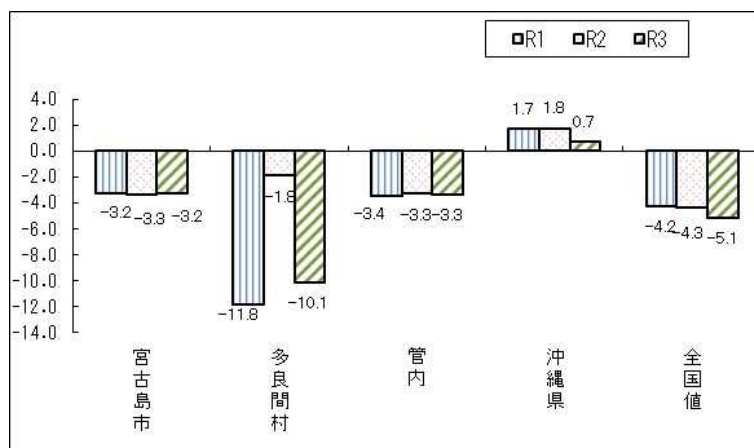
図1. 人口動態レーダーチャート (令和3年)



	全国	沖縄県	宮古
出生率	0.0	3.5	2.5
死亡率	0.0	△ 2.2	0.8
自然増加率	0.0	5.6	1.6
乳児死亡率	0.0	△ 0.1	0.4
新生児死亡率	0.0	0.0	△ 0.8
死産率	0.0	4.9	23.6
周産期死亡率	0.0	△ 0.2	0.8
婚姻率	0.0	0.8	0.4
離婚率	0.0	△ 0.2	0.9

人口動態統計で使用される主な指標を用いて、全国を基準として沖縄県及び宮古管内の値がどの位置にあるのかを示している。

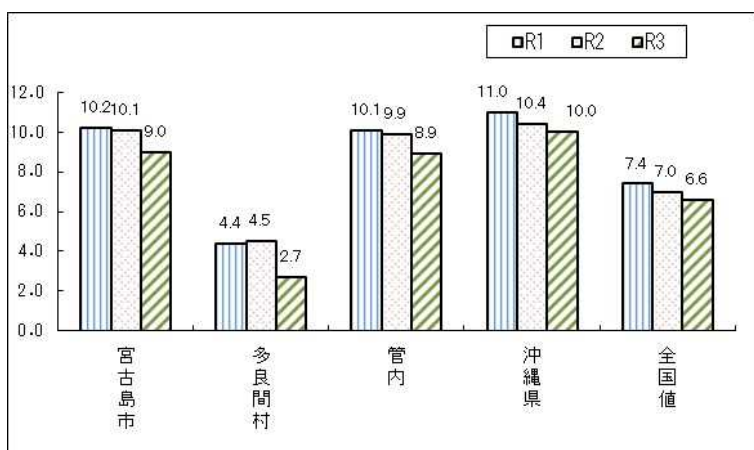
図2. 自然増加率（市村別・過去3年）



自然増加率の動向

全国的に減少傾向にある。
管内は、県全体と比較すると低い水準となっている。

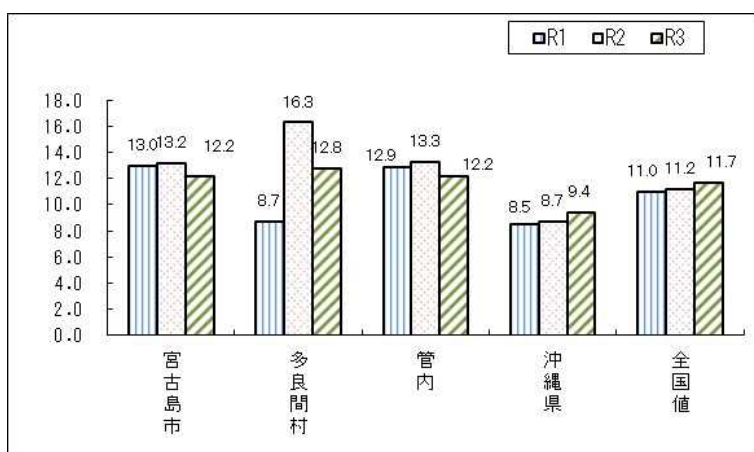
図3. 出生率（市村別・過去3年）



出生率の動向

全国的に減少傾向にある。
管内と県全体は、全国よりかなり高い水準となっている。

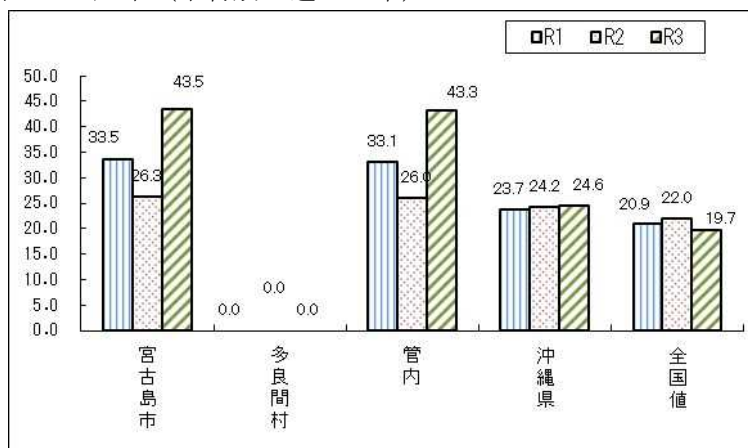
図4. 死亡率（市村別・過去3年）



死亡率の動向

全国的に増加傾向にある。
管内は、全国及び県全体と比較すると、人口の高齢化を反映して高い水準で推移している。

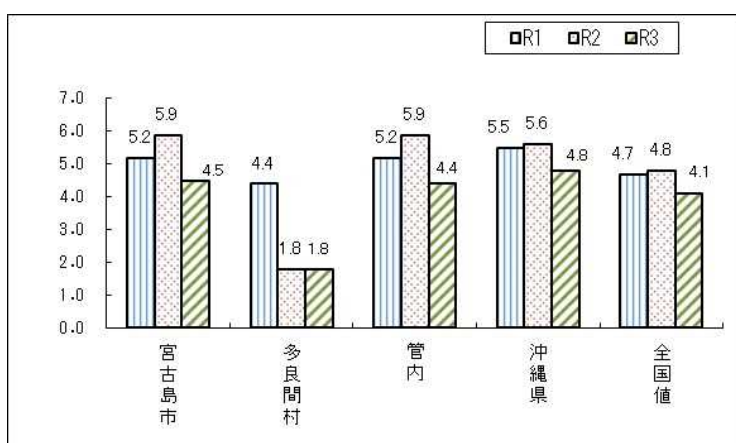
図 5. 死産率（市村別・過去 3 年）



死産率の動向

県全体では、全国よりもやや高い水準であるが、管内ではさらに高い水準となっている。

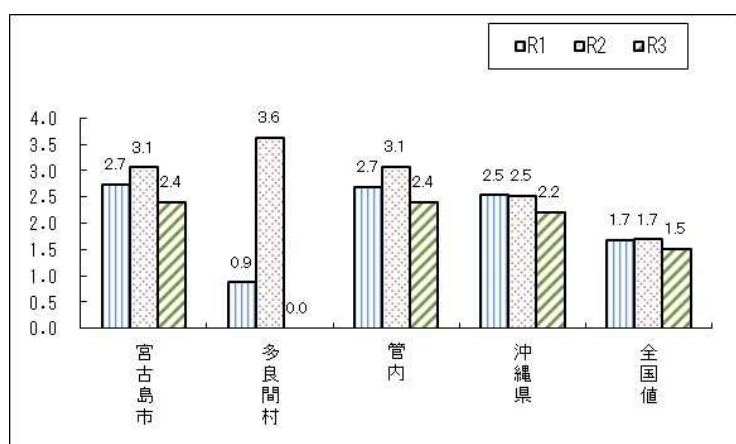
図 6. 婚姻率（市村別・過去 3 年）



婚姻率の動向

管内と県全体では、ほぼ同様の水準となっており、全国よりやや高い。

図 7. 離婚率（市村別・過去 3 年）



離婚率の動向

管内と県全体では、ほぼ同様の水準となっており、全国より高い。

(5) 令和3年人口動態総覧（市村別）

ア 人口動態総覧

単位：人、件

項目 市村	出生児数			(再掲) 低体重児数			死亡者数			(再掲) 乳児 死亡者数			(再掲) 新生児 死亡者数			死産胎数			周産期 死亡数			婚姻 件数	離婚 件数
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	自然	人工	計	後 期	早 期	計		
宮古島市	260	212	472	21	20	41	355	285	640	0	0	0	0	0	0	11	10	21	2	0	2	234	126
多良間村	1	2	3	0	0	0	8	6	14	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
管内	261	214	475	21	20	41	363	291	654	1	0	1	0	0	0	11	10	21	2	0	2	236	126

資料：令和3年厚生労働省人口動態調査確定値（R4.9月公表）

※低体重児数については、確定値の公表がないため、概数値で計上している。

○低体重児：2,500g未満の出生児

○乳児死亡：生後1年未満の死亡

○新生児死亡：生後4週間未満の死亡

○死産：妊娠満12週以後の死児の出産

○周産期死亡：後期⇒妊娠22週以後の死産

早期⇒生後1週間未満の死亡

イ 人口動態総覧（率）

単位：‰

項目 市村	出生率	死亡率	(再掲) 乳児 死亡率	(再掲) 新生児 死亡率	死産率	周産期 死亡率	婚姻率	離婚率	
宮古島市	R1年	10.1	13.2	-	-	26.3	-	5.9	3.1
	R2年	10.0	13.3	1.9	1.9	20.8	1.9	5.2	3.0
	R3年	9.0	12.2	-	-	43.5	4.2	4.5	2.4
多良間村	R1年	4.5	16.3	-	-	-	-	1.8	3.6
	R2年	4.6	6.4	-	-	-	-	0.9	0.9
	R3年	2.7	12.8	333.3	0.0	-	-	1.8	0.0
管内	R1年	9.9	13.3	-	-	26.0	-	5.9	3.1
	R2年	9.9	13.2	1.9	1.9	20.6	1.9	5.1	3.0
	R3年	8.9	12.2	2.1	0.0	43.3	4.2	4.4	2.4

資料：令和元年～令和3年厚生労働省人口動態調査確定値

(6) 管内合計特殊出生率（平成25～令和3年度）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
宮古管内（宮古島市+多良間村）	2.13	2.08	2.57	2.32	2.20	2.12	2.19	2.16	1.90
宮古島市	2.14	2.08	2.60	2.32	2.24	2.14	2.22	2.17	1.92
多良間村	1.80	2.01	1.59	2.70	0.81	0.97	1.11	1.54	0.96
沖縄県	1.94	1.86	1.96	1.95	1.94	1.89	1.82	1.83	1.8
全国	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.3

資料：①平成25年～令和3年厚生労働省人口動態調査確定値

②管内⇒未公表のため、当保健所において算出

※合計特殊出生率とは、出産可能年齢（15歳～49歳）の女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が生涯、何人の子どもを産むのかを推計したもので、計算式は以下のとおり。

計算式：〔年齢別出生数（5歳階級別）÷年齢別女子人口（5歳階級別）〕の総和
（15歳～49歳までの7階級）×5

※年齢別出生数（5歳階級別）については、厚生労働省人口動態調査結果（確定数）出生表5-1-47「出生数、性・母の年齢（5歳階級）・都道府県・保健所別」を参照した。

※平成25年～平成26年の基準女子人口は平成22年の国勢調査資料を、平成27年～令和元年の基準女子人口は平成27年の国勢調査資料を、令和2年度の基準女子人口は令和2年度の国勢調査資料を参照した。

(7) 人口動態総覧の年次推移

単位：人、組

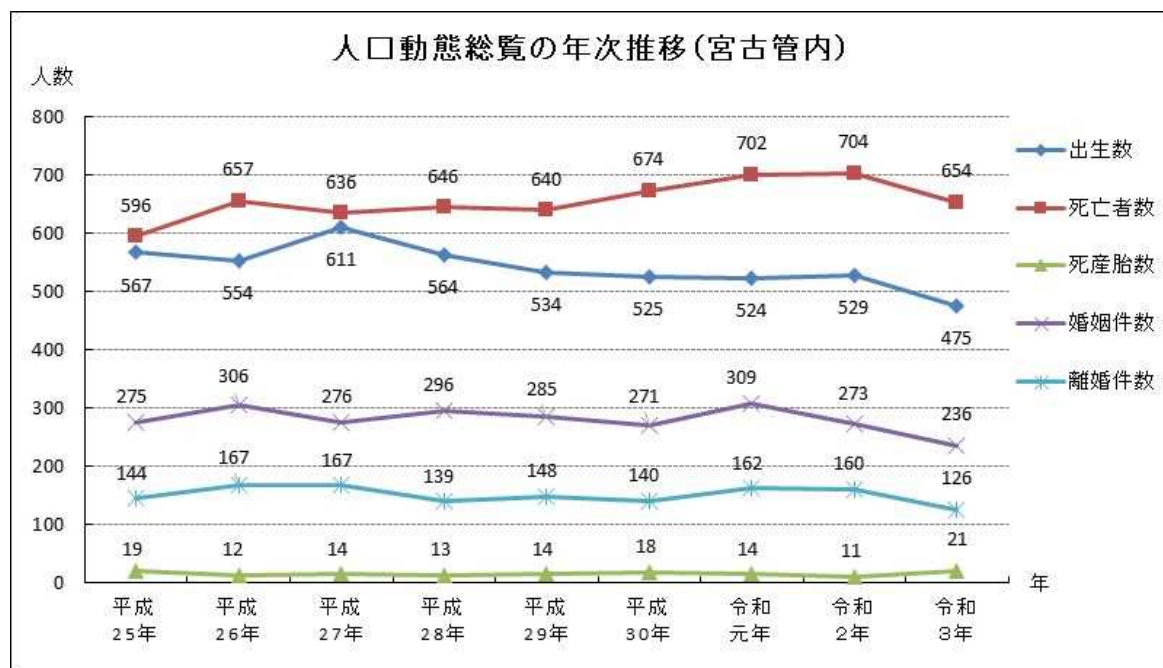
	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	対前 年比
管内人口	53,036	52,732	52,441	52,164	52,343	52,456	53,289	53,510	53,433	△ 77
出生数	567	554	611	564	534	525	524	529	475	△ 54
男	293	300	314	297	262	271	264	271	261	△ 10
女	274	254	297	267	272	254	260	258	214	△ 44
死亡者数	596	657	636	646	640	674	702	704	654	△ 50
男	322	341	323	352	372	355	373	393	363	△ 30
女	274	316	313	294	268	319	329	311	291	△ 20
乳児 死亡者数	0	1	0	2	0	1	0	1	1	0
男	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
女	0	1	0	2	0	0	0	1	0	△ 1
新生児 死亡者数	0	0	0	2	0	1	0	1	0	△ 1
男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
女	0	0	0	2	0	0	0	1	0	△ 1
死産胎数	19	12	14	13	14	18	14	11	21	10
自然	4	4	2	3	5	10	6	6	11	5
人工	15	8	12	10	9	8	8	5	10	5
周産期 死亡数	1	1	0	2	1	3	0	1	2	1
後期	1	1	0	0	1	2	0	0	2	2
早期	0	0	0	2	0	1	0	1	0	△ 1
婚姻件数	275	306	276	296	285	271	309	273	236	△ 37
離婚件数	144	167	167	139	148	140	162	160	126	△ 34

資料：①沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」(管内人口)

②平成 25 年～令和 3 年厚生労働省人口動態調査確定値

※太字下線付は、平成 25 年～令和 3 年までの最高値を表している。

※管内人口については、各年 10 月 1 日時点。



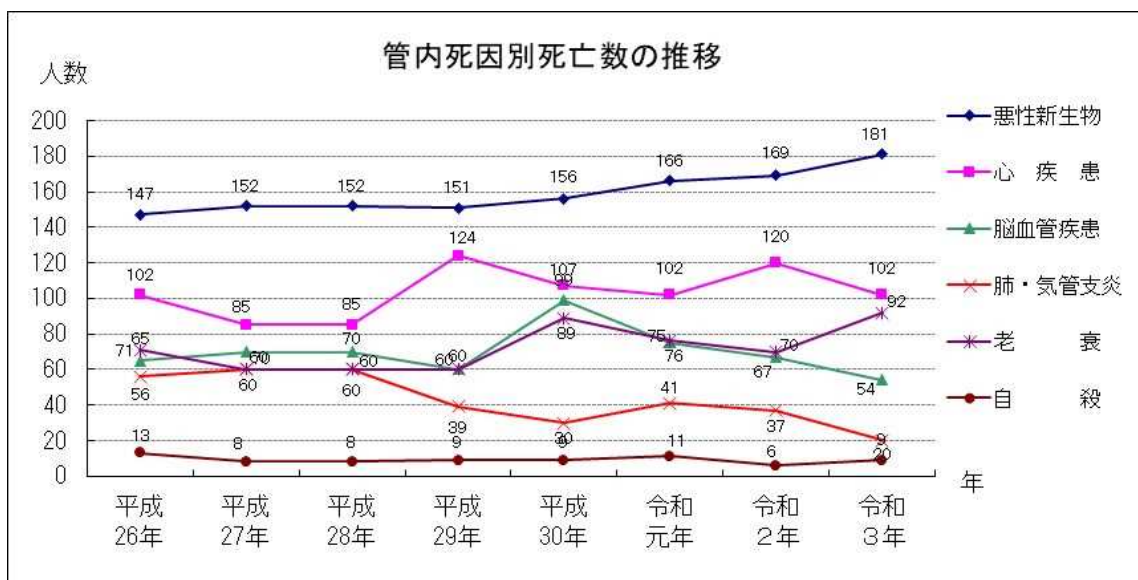
(8) 死亡の状況

死 因	令和3年		
	総数	宮古島市	多良間村
結 核	1	1	0
悪性新生物	181	175	6
糖 尿 病	5	5	0
高血圧性疾患	14	13	1
心 疾 患	102	101	1
脳血管疾患	54	53	1
肺炎・気管支炎	20	20	0
胃・十二指腸潰瘍	0	0	0
肝 疾 患	13	13	0
腎 不 全	11	11	0
老 衰	92	91	1
不慮の事故	13	13	0
自 殺	9	9	0
そ の 他	139	135	4
合 計	654	640	14

年 代	令和3年		
	総数	宮古島市	多良間村
10歳未満	3	2	1
10歳-19歳	2	2	0
20歳-29歳	1	1	0
30歳-39歳	3	3	0
40歳-49歳	12	12	0
50歳-59歳	37	36	1
60歳-69歳	77	75	2
70歳-79歳	94	91	3
80歳-89歳	190	189	1
90歳以上	235	229	6
合 計	654	640	14

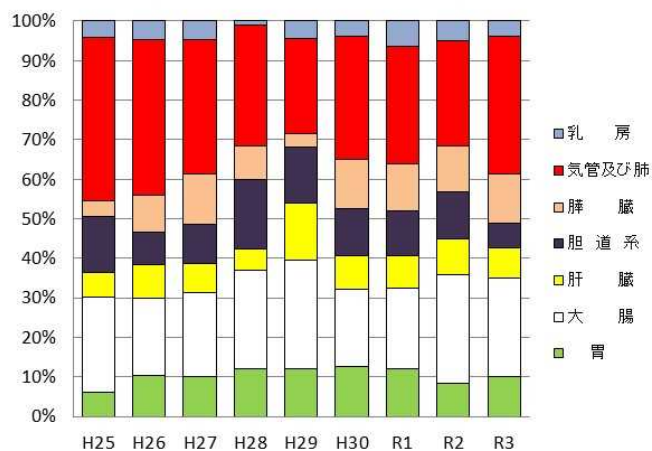
ア 死亡者数（死因別・市村別）

イ 死亡者数（年代別・市村別）



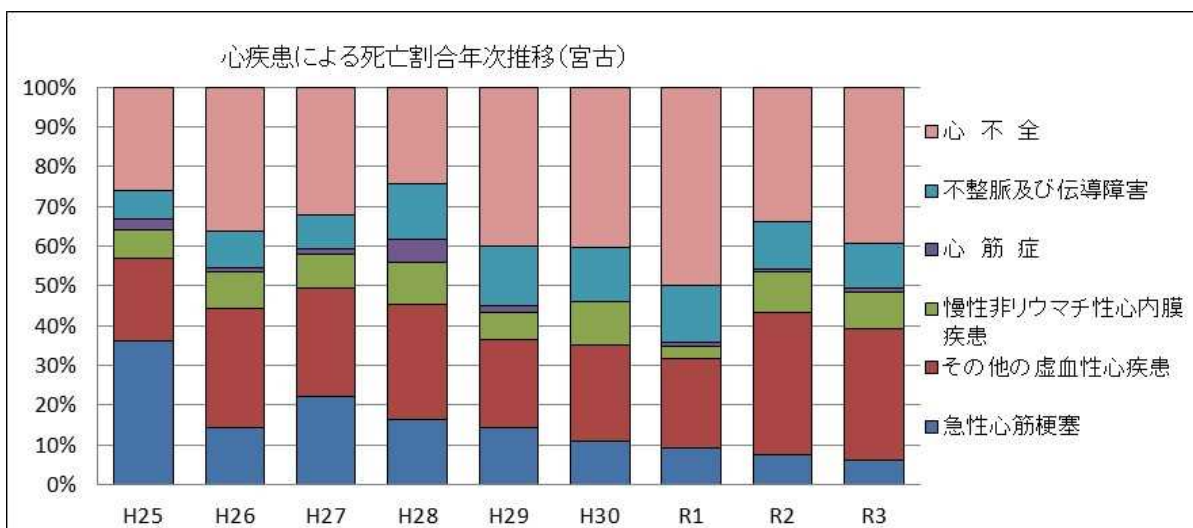
ウ 悪性新生物部位別死亡者数（市村別）及び部位別死亡者割合年次推移（管内）

悪性新生物 部 位	総数			宮古島市			多良間村		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
食 道	5	3	3	2	3	3	3	0	0
胃	13	10	13	13	10	13	0	0	0
結 腸	16	21	23	16	21	22	0	0	1
直 腸	6	12	9	6	12	9	0	0	0
肝 臓	9	11	10	9	11	9	0	0	1
胆 道 系	12	14	8	12	13	8	0	1	0
膵 臓	13	14	16	12	14	16	1	0	0
気管及び肺	32	32	45	31	32	43	1	0	2
乳 房	7	6	5	7	6	5	0	0	0
子 宮	5	4	2	5	4	2	0	0	0
白 血 病	3	2	2	3	2	2	0	0	0
そ の 他	45	40	45	44	39	43	1	1	2
合 計	166	169	181	160	167	175	6	2	6



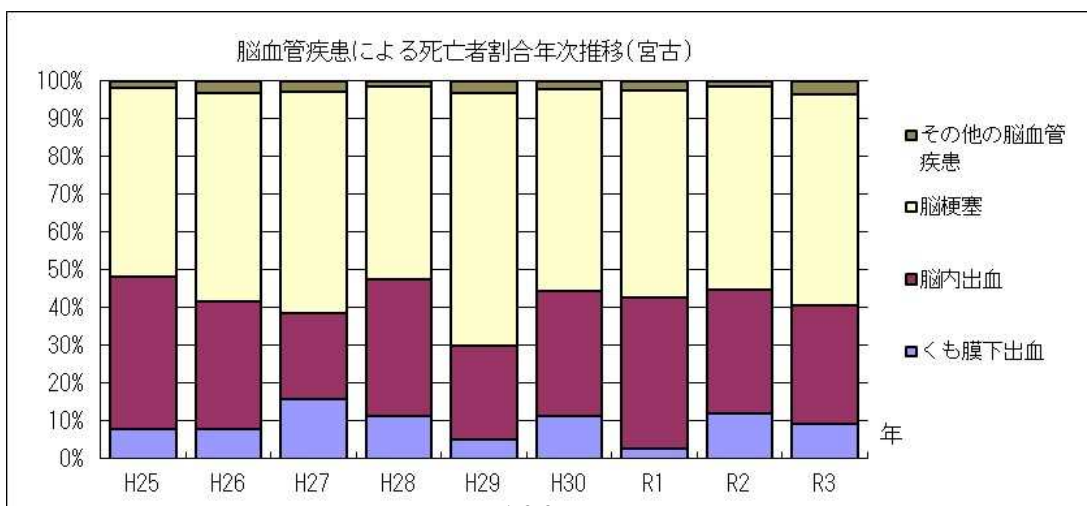
エ 心疾患による死亡者数（種別、市村別）及び死亡割合年次推移（管内）

死 因	総数			宮古島市			多良間村		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
慢性リウマチ性心疾患	1	1	2	1	1	2	0	0	0
急性心筋梗塞	9	9	6	9	9	6	0	0	0
その他の虚血性心疾患	22	42	33	22	42	33	0	0	0
慢性非リウマチ性心内膜疾患	3	12	9	3	12	9	0	0	0
心筋症	1	1	1	1	1	1	0	0	0
不整脈及び伝導障害	14	14	11	14	13	11	0	1	0
心不全	49	40	39	46	40	38	3	0	1
その他の心疾患	3	1	1	3	1	1	0	0	0
合 計	102	120	102	99	119	101	3	1	1



オ 脳血管疾患による死亡者数（種別、市村別）及び死亡者割合年次推移（管内）

脳血管疾患 死因種別	総数			宮古島市			多良間村		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
くも膜下出血	2	0	5	2	8	5	0	0	0
脳内出血	30	0	17	30	22	16	0	0	1
脳梗塞	41	0	30	39	36	30	2	0	0
その他の脳血管疾患	2	0	2	2	1	2	0	0	0
合 計	75	0	54	73	67	53	2	0	1



II 地域保健班業務

1 母子保健

(1) 主な母子事業の変遷

年	乳幼児健康診査及び専門健診、療育相談事業	思春期保健事業
昭和49年	乳幼児一斉健診開始 (厚生省医療技術支援)	
昭和57年		巡回療育相談開始
昭和62年		心臓検診
平成2年	特殊健診 ・遺伝専門健診・心理相談 ・未熟児健診・アレルギー健診 ・療育相談	
平成3年		聴力、言語療育相談 (愛の小鳩事業団)
平成9年	乳幼児健診 (市町村で実施)	H8年終了
平成10年	母子保健クリニック開設	
平成12年	自閉症相談 (厚生省医療技術支援)	
平成13年		思春期保健講演会開始 (厚生省医療技術支援)
平成15年	遺伝相談 (県内医師)	H14 巡回療育相談・訓練事業 県障害福祉課がふれあいの里へ委託 (窓口は「さぼーと」)
平成16年	自閉症児の療育・相談 (コロメソッドによる)	H16 心臓検診 →宮古病院で専門外来として実施
平成17年	H17年終了	思春期ピアエデュケーション
平成18年		思春期保健 ピアカウンセリング開始
平成19年	自閉症相談 県費で継続	思春期保健 ピアカウンセラーの育成
平成20年		思春期保健教育研究会立ち上げ (事務局:宮古福祉保健所)
平成21年	発達障害児等相談と改称	巡回思春期相談の開始
平成23年		第1回思春期フェスティバル開催
平成24年	H24年終了	第4回思春期フェスティバル開催 保健所での事務局を終了
平成25年	長期療養児相談	宮古島市思春期保健教育研究会 として再発足 (事務局:宮古島市健康増進課)
平成26年		
平成27年	ダウン症児親の会	
平成28年	H28年終了 発達障害児の支援体制整備を行った	
平成29年		
平成30年		
〃		
令和3年		

2 難病対策

(1) 受給者証交付状況詳細

令和3年度(単位:件)

疾病名	交付件数	新規	更新	男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	宮古	多良間
筋萎縮性側索硬化症	5	1	4	3	2	0	0	1	1	0	2	1	5	0
進行性核上性麻痺	12	3	9	8	4	0	0	0	0	0	6	6	12	0
パーキンソン病	48	3	45	26	22	0	0	0	0	0	15	33	47	1
重症筋無力症	16	2	14	10	6	0	1	1	1	1	7	5	16	0
多発性硬化症/視神経脊髄炎	4	0	4	2	2	0	0	0	3	0	0	1	4	0
慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー	2	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0
クロウ・深瀬症候群	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
多系統萎縮症	5	1	4	3	2	0	0	0	0	1	3	1	5	0
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	5	0	5	2	3	0	0	0	0	1	4	0	5	0
もやもや病	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
亜急性硬化性全脳炎	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
全身性アミロイドーシス	2	0	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0
天疱瘡	4	0	4	2	2	0	0	0	1	2	1	0	4	0
膿疱性乾癬(汎発型)	4	0	4	2	2	0	0	2	1	0	0	1	4	0
巨細胞性動脈炎	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
結節性多発動脈炎	5	0	5	4	1	0	0	0	0	1	1	3	5	0
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	2	2	1	3	0	0	0	1	0	0	3	4	0
悪性関節リウマチ	3	1	2	2	1	0	0	0	0	2	0	1	2	1
バーシャー病	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
全身性エリテマトーデス	28	5	23	2	26	0	2	4	5	7	7	3	27	1
皮膚筋炎/多発性筋炎	12	1	11	1	11	0	0	0	0	1	6	5	11	1
全身性強皮症	5	2	3	2	3	0	0	0	1	0	1	3	5	0
混合性結合組織病	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
シェーグレン症候群	7	1	6	0	7	0	2	0	0	1	2	2	7	0
成人スチル病	3	1	2	0	3	0	0	0	0	2	1	0	3	0
ベーチェット病	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
特発性拡張型心筋症	6	1	5	4	2	0	0	0	1	1	3	1	6	0
肥大型心筋症	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
再生不良性貧血	7	1	6	3	4	0	0	1	3	1	0	2	6	1
発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
特発性血小板減少性紫斑病	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
IgA腎症	3	1	2	1	2	0	0	1	1	1	0	0	2	1
多発性嚢胞腎	2	0	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0
黄色靱帯骨化症	13	3	10	9	4	0	0	1	0	2	2	8	13	0
後縦靱帯骨化症	28	9	19	23	5	0	0	0	1	3	14	10	28	0
広範脊柱管狭窄症	8	0	8	6	2	0	0	0	0	0	4	4	8	0
特発性大腿骨頭壊死症	8	2	6	4	4	0	0	1	1	1	4	1	7	1
下垂体性ADH分泌異常症	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
下垂体前葉機能低下症	6	0	6	2	4	0	1	1	1	1	0	2	6	0
サルコイドーシス	4	3	1	0	4	0	0	0	0	1	2	1	4	0
特発性間質性肺炎	3	0	3	2	1	0	0	0	0	0	2	1	2	1
肺動脈性肺高血圧症	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0
網膜色素変性症	20	0	20	9	11	0	0	0	4	1	10	5	20	0
原発性胆汁性胆管炎	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0
原発性硬化性胆管炎	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
自己免疫性肝炎	2	0	2	0	2	0	0	1	1	0	0	0	2	0
クローン病	13	0	13	9	4	0	1	3	7	0	1	1	13	0
潰瘍性大腸炎	23	4	19	16	7	1	1	6	2	2	7	4	23	0
筋ジストロフィー	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
脊髄髄膜瘤	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
レノックス・ガストー症候群	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
家族性良性慢性天疱瘡	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0
抗糸球体基底膜腎炎	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
一次性ネフローゼ症候群	5	1	4	3	2	0	0	1	0	0	2	2	5	0
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
紫斑病性腎炎	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
強直性脊椎炎	4	0	4	1	3	0	0	0	2	1	1	0	4	0
軟骨無形成症	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
後天性赤芽球癆	3	0	3	2	1	0	0	0	0	0	2	1	3	0
自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
好酸球性副鼻腔炎	2	0	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0
計	367	58	309	186	181	1	11	31	40	42	122	119	359	8
構成比(%)	100.0			50.7	49.3	0.3	3.0	8.4	10.9	11.4	33.2	32.4	97.8	2.2

Ⅲ 健康推進班業務

1 結核対策

図1 新登録患者の罹患率年次推移

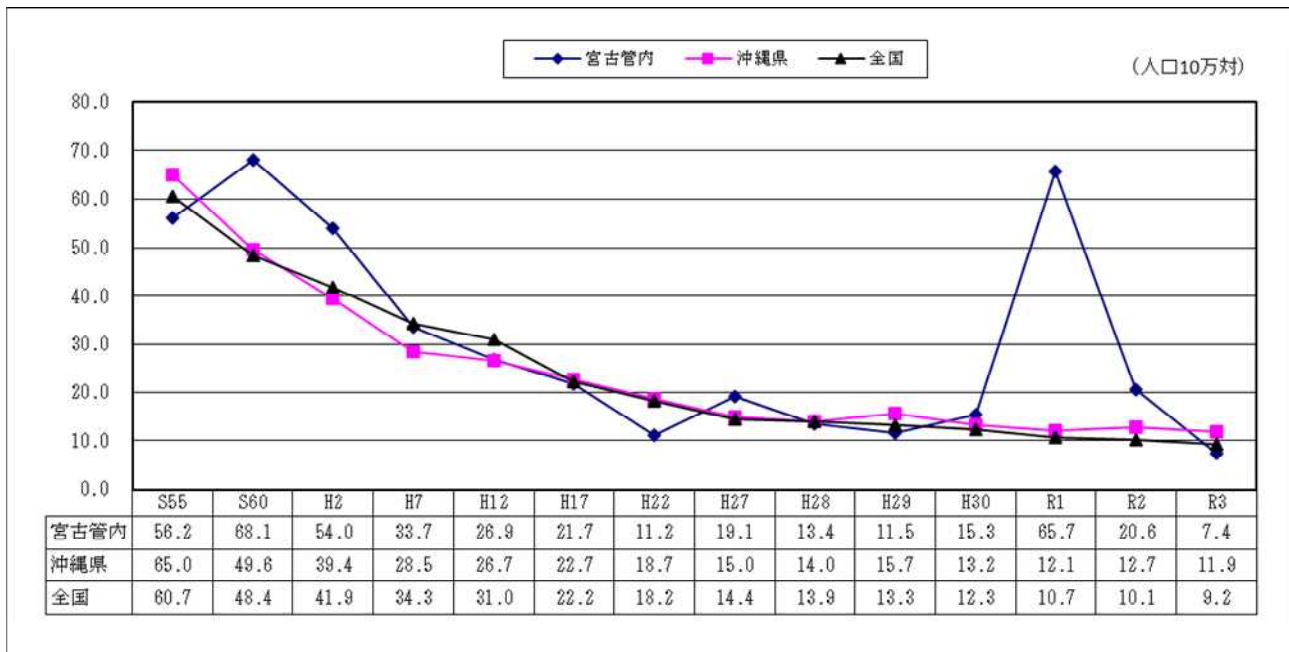


表1 新登録患者の年齢階級別状況

令和3年

区分	総数	活動性肺結核				活動性肺外結核	不明	潜在性結核感染症(別掲)
		総数	感染性		菌陰性			
			喀痰塗抹陽性	その他の菌陽性				
年次別								
年齢階級別計	4	2	0	0	2	2	0	4
0～4歳	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	1	1	0	0	1	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	1	1	0	0	1	0	0	1
70～79歳	1	0	0	0	0	1	0	2
80～89歳	1	0	0	0	0	1	0	1
90歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0

図 2 新登録患者の年齢階級別状況

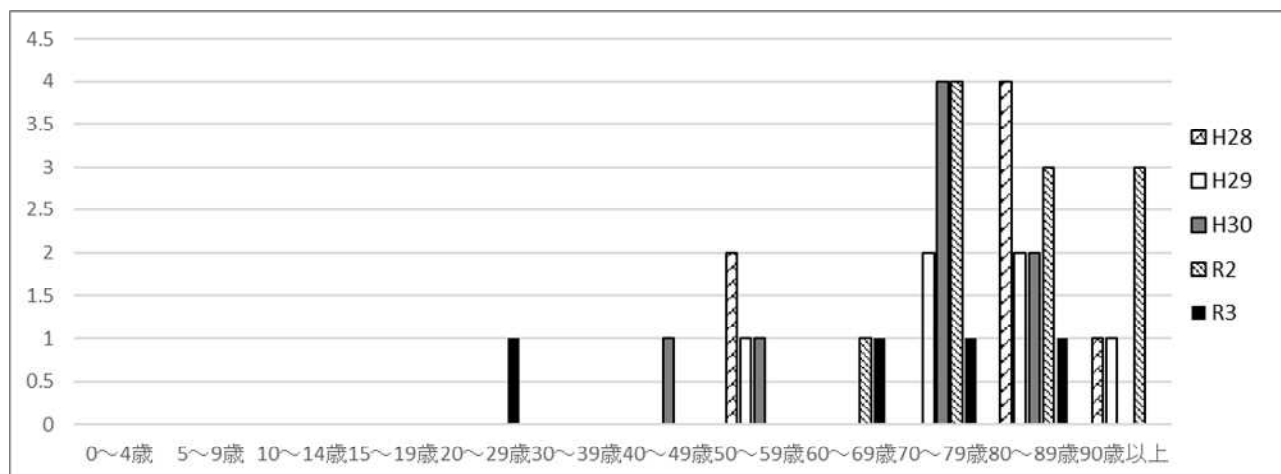


表 2 結核死亡状況

結核死亡率：‰（千分率）

	宮古管内			人口	沖縄県		全国	
	全死亡数	結核死亡数	結核死亡率		結核死亡数	結核死亡率	結核死亡数	結核死亡率
S50年	411	1	2.4	57,762	52	5.0	10,567	9.5
55年	406	2	4.9	60,464	39	3.5	6,429	5.5
60年	375	3	5.0	60,333	28	2.4	4,692	3.9
H2年	461	2	3.5	57,455	32	2.6	3,659	3.0
7年	416	1	2.4	56,248	31	2.4	3,178	2.6
12年	463	1	2.2	55,805	23	1.8	2,650	2.1
17年	517	0	0.0	55,186	17	1.2	2,295	1.8
22年	631	1	1.6	53,452	23	1.7	2,126	1.7
27年	639	1	1.6	52,441	22	1.5	1,955	1.6
28年	623	1	1.6	52,164	14	1.0	1,889	1.5
29年	631	0	0.0	52,343	30	2.1	2,306	1.9
30年	629	0	0.0	52,456	25	1.7	2,204	1.8
R1年	653	1	1.5	53,289	22	1.5	2,087	1.7
2年	690	3	4.3	53,510	21	1.5	1,909	1.5
3年				52,850	25	1.7	1,844	1.5

2 感染症対策

表 1 年次別感染症発生状況（全数報告）

類型	疾患名	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
2類	結核	9	13	62	22	8
3類	腸管出血性大腸菌感染症	5	4	1	8	7
4類	E型肝炎	1	0	0	0	0
	つつが虫病	5	3	4	3	3
	レジオネラ症	2	2	2	0	2
	レプトスピラ症	0	0	0	0	2
5類	急性脳炎	1	2	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	1	0	0
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	3	1	1	1
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	4	4	2	2
	水痘（入院例に限る）	0	0	0	0	1
	梅毒	1	0	3	2	2
	百日咳（H30年1月～）	—	3	3	3	0
	風しん	0	0	1	0	0
	麻しん	0	2	0	0	0
	アメーバ赤痢	0	0	0	1	0
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	0	0	0	2	0
合計		31	38	83	44	28

表 2 月別感染症発生状況（定点報告）

令和 3 年

疾患名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	1	9	49	15	7	9	7	0	9	29	32	2	169
咽頭結膜熱	5	1	2	3	10	7	2	1	5	7	6	14	63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	7	2	7	3	9	2	0	2	2	1	37
感染性胃腸炎	0	7	6	3	4	37	38	11	2	8	5	5	126
水痘	1	4	6	1	0	2	0	1	1	0	0	0	16
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	48	49
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	0	0	2	3	5	2	1	2	1	4	1	0	21
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
流行性耳下腺炎	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	2	2	4	3	2	1	1	10	7	4	2	0	38
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6	5	5	5	7	5	4	5	9	5	3	4	63
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 3 定期予防接種実施状況 令和3年度

	DPT（ジフテリア・百日せき・破傷風）・DT（ジフテリア・破傷風）							ポリオ			
	第Ⅰ期				第Ⅱ期			I P V（不活化）			
	初回接種			追加接種	DT（ジフテリア・破傷風）			I 期初回			I 期追加
	1回目	2回目	3回目					1回目	2回目	3回目	4回目
	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数	対象者数	被接種者数	接種率	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数
宮古島市	0	0	0	0	568	336	59.2%	0	0	0	0
多良間村	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0
宮古管内	0	0	0	0	568	336	59.2%	0	0	0	0

	DPT-IPV（4種混合）									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	495	472	95.4%	467	94.3%	472	95.4%	557	476	85.5%
多良間村	3	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%
宮古管内	498	473	95.0%	467	93.8%	472	94.8%	557	476	85.5%

	MR（麻しん・風しん）						BCG（結核）		
	第1期			第2期			対象者数	被接種者数	接種率
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率			
宮古島市	491	466	94.9%	600	531	88.5%	500	457	91.4%
多良間村	7	3	42.9%	11	11	100.0%	0	0	0.0%
宮古管内	498	469	94.2%	611	542	88.7%	500	457	91.4%

	日本脳炎										
	第1期							第2期			
	対象者数	初回接種				追加接種			対象者数	被接種者数	接種率
		1回目		2回目		対象者数	被接種者数	接種率			
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率						
宮古島市	553	357	64.6%	357	64.6%	570	241	42.3%	565	153	27.1%
多良間村	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
宮古管内	553	357	64.6%	357	64.6%	570	241	42.3%	565	153	27.1%

	Hib感染症									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	507	463	91.3%	465	91.7%	458	90.3%	545	470	86.2%
多良間村	3	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	0	0	0.0%
宮古管内	510	465	91.2%	466	91.4%	458	89.8%	545	470	86.2%

	肺炎球菌感染症 (小児がかかるものに限る)									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	507	464	91.5%	466	91.9%	464	91.5%	545	470	86.2%
多良間村	3	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0	0.0%
宮古管内	510	465	91.2%	467	91.6%	464	91.0%	545	470	86.2%

	HBV(B型肝炎)						
	対象者数	初回接種				追加接種	
		1回目		2回目		3回目	
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率
宮古島市	507	460	90.7%	461	90.9%	451	89.0%
多良間村	3	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%
宮古管内	510	461	90.4%	462	90.6%	451	88.4%

	水痘					
	1回目			2回目		
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	545	464	85.1%	557	403	72.4%
多良間村	0	0	0.0%	0	0	0.0%
宮古管内	545	464	85.1%	557	403	72.4%

	HPV (ヒトパピローマウイルス感染症)			
	対象者数	1回目	2回目	3回目
		被接種者数		
宮古島市	1582	6	8	4
多良間村	30	12	12	5
宮古管内	1612	18	20	9

	肺炎球菌感染症 (高齢者がかかるものに限る)				インフルエンザ (高齢者がかかるものに限る)		
	65歳			経過措置	65歳以上		
	対象者数	被接種者数	接種率	被接種者数	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	926	131	14.1%	139	14,844	6,316	42.5%
多良間村	8	4	50.0%	14	345	239	69.3%
宮古管内	934	135	14.5%	153	15,189	6,555	43.2%

3 多目的コホート研究

(1) 目的

多目的コホート研究は、1990年に始まった大規模で長期にわたる観察型の疫学研究である。独立行政法人国立がん研究センターのがん研究開発費※を原資に2021年現在も追跡調査が続けられている。どのような生活習慣・環境をもつ人が、がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病などになりやすいのか、あるいはなりにくいのかを明らかにすることを目的としている。

※2009年までは厚生労働省がん研究助成金による

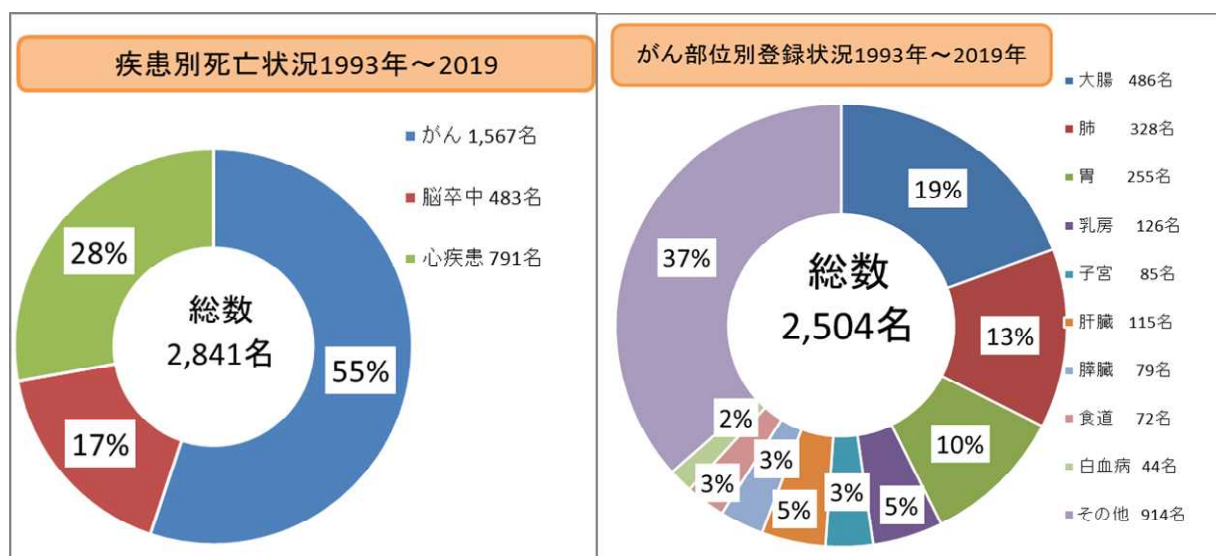
(2) 対象（コホートⅡ：1993年研究開始）

1993年に、旧平良市及び旧城辺町に在住する40歳以上70歳未満の方（大正12年1月1日から昭和27年12月31日に生まれた方）14,109名を対象に、市町村の住民基本台帳より抽出した。

(3) 内容

独立行政法人国立がん研究センターがん研究事業を実施するため、宮古保健所長が分担研究者となり、宮古地域の住民調査を実施している。現在の主な業務としては、コホート対象者の異動情報処理、死亡情報処理、その他関連業務を実施している。

(4) 宮古地域のがん罹患および疾患別死亡状況



IV 生活環境班業務

1 血液関係

赤十字血液センターによる献血事業が年に2回実施されており、高校生を対象とした献血は年1回実施されている。

表1 地区別 献血実績（平成29～令和3年度）（単位：人）

	年度	予定人員	受付者数	不適格者数	献血の種類				予定人員に対する献血者の割合(%)
					200mL	400mL	成分	合計	
平良地区	平成29年度	1,325	1,575	268	14	1,293	0	1,307	98.6
	平成30年度	1,085	1,330	208	6	1,116	0	1,122	103.4
	令和元年度	995	1,324	168	10	1,146	0	1,156	116.2
	令和2年度	670	925	167	21	737	0	758	113.1
	令和3年度	980	1,482	248	3	1,231	0	1,234	125.9
城辺地区	平成29年度	40	44	5	0	39	0	39	97.5
	平成30年度	20	32	3	0	29	0	29	145.0
	令和元年度	20	20	0	0	20	0	20	100.0
	令和2年度	20	26	1	0	25	0	25	125.0
	令和3年度	20	16	0	0	16	0	16	80.0
下地地区	平成29年度	20	13	1	0	12	0	12	60.0
	平成30年度	20	21	0	0	21	0	21	105.0
	令和元年度	20	20	1	0	19	0	19	95.0
	令和2年度	20	23	2	0	21	0	21	105.0
	令和3年度	20	21	0	0	21	0	21	105.0
上野地区	平成29年度	125	137	17	1	119	0	120	96.0
	平成30年度	100	119	8	0	119	0	119	119.0
	令和元年度	195	238	11	0	227	0	227	116.4
	令和2年度	120	167	32	0	135	0	135	112.5
	令和3年度	280	345	11	0	334	0	334	119.3
伊良部地区	平成29年度	40	28	6	0	22	0	22	55.0
	平成30年度	25	31	3	0	28	0	28	112.0
	令和元年度	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和2年度	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和3年度	-	-	-	-	-	-	-	-

※多良間村は未実施

資料：沖縄県赤十字血液センター

表2 高等学校別 献血実績（平成29～令和3年度）（単位：本）

	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計
伊良部高等学校	0	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮古高等学校	7	51	58	3	60	63	2	51	53	6	49	55	0	48	48
宮古総合実業高校	2	42	44	0	29	29	5	28	33	5	21	26	1	18	19
宮古工業高等学校	1	25	26	1	24	25	0	22	22	6	30	36	1	31	32
合計	10	129	139	4	113	117	7	101	108	17	100	117	2	97	99

資料：沖縄県赤十字血液センター

V 研修・講習

NO	実施月日	研修・講習名	場 所	受講対象者	開催回数	研修・講習講師	担 当 班
1	R3. 4. 15 R3. 5. 20	浄化槽設置者講習会	宮古保健所 2 階 大会議室	浄化槽設置者	2	生活環境班技師	生活環境班
2	R3. 7. 14	学園祭事前食品衛生講習会	宮古総合実業高 等学校	教員・学生	1	生活環境班技師	生活環境班
3	R3. 10. 8 R3. 10. 25 R3. 11. 17 R3. 3. 16	食品衛生責任者養成講習会	宮古合同庁舎 大会議室	食品衛生責任者資 格取得希望者	4	生活環境班技師	生活環境班
4	R3. 10. 29	と畜場関連基本講習会	宮古食肉セン ター会議室	と畜場関係者	1	生活環境班技師	生活環境班
5	R3. 11. 15 R3. 11. 16	動物取扱責任者研修	宮古保健所 2 階 大会議室	動物取扱責任者	2	生活環境班技師	生活環境班
6	R4. 1. 11	食中毒原因施設従業員向け 食品衛生講習会	原因施設	食中毒原因施設従 業員	1	生活環境班技師	生活環境班
7	R3. 11. 19	新型コロナウイルス感染症 対策に係る宮古島市保育施 設 意見交換会	宮古島市役所 2 階大ホール	公立、認可、認可 外保育施設、放課 後児童クラブ	1	健康推進班保健 師 県立宮古病院感 染症認定看護師	健康推進班
8	R3. 11. 24	新型コロナウイルス感染症 の再流行に備え、施設内の 体制の及び施設間における 応援・連携体制を考える研 修会	宮古島市役所 2 階大ホール	高齢者介護施設、 障害者支援施設の 施設長、管理者	1	あけぼの学園 施設長	健康推進班
9	R3. 12. 3	新型コロナウイルス感染症 学校・医療・行政の連携し た 対応策について意見交換会	宮古島市役所 3 階全員協議会 室	小中学校校長	1	県立宮古病副院 長 健康推進班保健 師 県ワクチン接種 等戦略課主事	健康推進班
10	R3. 12. 8 R3. 12. 15	アルコール家族教室 ※2回で1クール	宮古保健所 健康増進室	アルコール依存症 者の家族及び支援 者	2	地域保健班保健 師 断酒会員	地域保健班